



TITLE:

和歌山県田辺湾に漂着したゴバン  
ノアシ(サガリバナ目, サガリバナ  
科)の果実

AUTHOR(S):

久保田, 信; 田名瀬, 英朋; 檜山, 嘉郎

---

CITATION:

久保田, 信 ...[et al]. 和歌山県田辺湾に漂着したゴバンノアシ(サガリバナ目, サガリバナ科)の果実. 南紀生物 1999, 41(2): 129-129

ISSUE DATE:

1999-12

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/188276>

RIGHT:

© 南紀生物同好会

短 報

和歌山県田辺湾に漂着したゴバンノアシ（サガリバナ目、サガリバナ科）の果実

久保田 信\*・田名瀬英朋\*・榎山 嘉郎\*

Shin KUBOTA, Hidetomo TANASE, Yoshiro KASHIYAMA: Fruits of *Barringtonia asiatica* Kurz (Lecythidales, Lecythidaceae) were found washed up on the shore of Tanabe Bay, Wakayama Prefecture, Japan

ゴバンノアシ *Barringtonia asiatica* KURZ はわが国では西表島と石垣島にごくまれに、概して東南アジアの海岸に広く分布するサガリバナ科 Lecythidaceae の樹木で、高さ 15 m、径 1.2 m に達する。その果実は形態的変異が大きいものの基盤の脚に類似するところからその和名がつけられた。果実は比較的大きく、繊維質とコルク質の両方からなる果皮をもち、海流散布に適した形態をとっているためわが国沿岸（太平洋沿岸では、沖縄県・鹿児島県から千葉県にかけて）に漂着した例が報告されている（石井, 1977, 1980, 1986, 1999；中西, 1983a, b, 1990；平塚市博物館, 1997）。和歌山県下では本州

最南端の串本町への漂着が記録されており（中西, 1990 参照）、著者らの一人も串本町で複数個の果実を発見収集している（榎山, 未発表）。近年、和歌山県田辺湾へ本種の果実が、複数個漂着した。これはゴバンノアシ果実の新しい漂着地点であるとともに本海域からの初記録であるので報告する。

漂 着 記 録

1996年から1999年にかけて和歌山県田辺湾湾口部の番所崎で発見されたゴバンノアシの果実6個の記録を表1にまとめた。すべて京都大学瀬戸臨海実験所の北浜に漂着した。年によって漂着の月は多少異なっているものの

表1 和歌山県田辺湾へ漂着したゴバンノアシ果実6個の採集データ

Table 1. Collection data for six fruits of *Barringtonia asiatica* found washed ashore in Tanabe Bay, Wakayama Prefecture.

漂着年月日	幅 (mm)*	高さ (mm)	外皮の状態	稜の数
1996. V. 10	122	86	ほぼ残存	4
1996. X. 22	68	45	側面部残存	5
1997. VI. 20	108	75	ほぼ剝奪	4
1997. VIII. 29	84	90	ほぼ残存	4
1999. VII. 5	121	77	ほぼ残存	5
1999. VII. 13	86	86	ほぼ残存	4

\* 対角線部を測定



図1 和歌山県田辺湾へ漂着したゴバンノアシ果実6個。

Fig. 1. Six fruits of *Barringtonia asiatica* found washed ashore in Tanabe Bay, Wakayama Prefecture.

\* 京都大学大学院理学研究科附属瀬戸臨海実験所（〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町）Seto Marine Biological Laboratory, Graduate School of Science, Kyoto University, Shirahama, Nishimuro, Wakayama 649-2211, Japan